

令和7年度 共興小学校学校評価（前期結果・考察）

1 学校評価とは

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

2 学校評価の方法

学校評価には、（１）「自己評価」、（２）「学校関係者評価」、（３）「第三者評価」の３つがあり、（１）並びに（２）は実施と教育委員会への報告が義務づけられています。（３）は任意での実施です。本校では、（１）並びに（２）を実施しています。

（１）「自己評価」

学校職員による自己評価です。経営評価の参考とするための「保護者アンケート」「児童アンケート」を実施しています。

（２）「学校関係者評価」

「共興の教育を語る会」委員による評価で、（１）の自己評価結果を踏まえた評価となります。例年、後期に実施しています。

なお、（１）については公表の義務があり、公表は学校だよりやホームページを活用して実施しています。

3 評価項目 ※詳細は別紙参照

（１）職員の評価項目は昨年度と同様の２１項目、職員と保護者の質問内容は同じものです。

（２）令和４年度より児童のアンケートを実施しています。

項目は、職員・保護者の質問項目に対応させています。

（３）評価方法は、「思う」…４ポイント、「やや思う」…３ポイントの肯定的評価、「あまり思わない」…２、「思わない」…１ポイントの否定的評価とし、これらの平均値で評価しています。 ※平均値は１ポイントから４ポイントの間となります。

4 学校評価（教職員自己評価）の結果の概要と考察

（１）R6年度前期との比較

①過去と同様の基準である「高評価＝３．２５以上」に照らした場合は、２１項目全てにおいて上回っています。また、R6年度前期に比べて２０項目で向上していました。

その中でも、特に大幅に向上（０．３ポイント以上）が見られた項目は以下の項目です。

7 教職員は、思いやりや助け合いの心の育成など、命を大切にする教育を行っている。

3.61 (+0.32)

8 教職員は、子どもが挨拶や礼儀など基本的なマナーが身につけられるよう指導している。

3.57 (+0.33)

9 教職員は、子どもに読書の習慣が身につくよう指導している。

3.57 (+0.9)

10 教職員は、個別指導などの細やかな指導を根気強く行っている。

3. 50 (+0. 33)

12 教職員は、子どものやる気引き出すよう工夫した楽しい授業を行っている。

3. 54 (+0. 46)

13 教職員は、子どもに家庭学習の習慣が身につくよう指導している。

3. 52 (+0. 52)

学校公開や家庭での日々の会話等で、学習面が高い評価につながったと考えます。

また、7月3日の全クラスの道徳実践など児童の豊かな心の育成につながっていると、学校の取組について評価いただけたと考えます。今後も引き続き工夫して取り組んでいきたいと思ひます。

上位3項目については、「地域との連携」に関する項目18、19、20は、昨年度と同様です。②努力を要する項目「=2. 75未満」は、前期同様にありませんでした。

昨年度課題に挙がっていた「読書習慣の定着」については、前期同様、学校支援ボランティア「読書おたすけ隊」の読み聞かせ活動や、図書整理、読書賞や暗唱賞、市立図書館との連携による、「司書さんの学年別おすすめの本」の配本、図書委員会児童による読書祭りや各種イベント等、様々な取組を行っています。継続的な取組の成果で、進んで読書や暗唱に取り組む児童がかなり増加しています。課題としては、読書量に学年差があるため、発達段階に応じた取組の工夫を図っていききたいと考えています。

今後とも「家読」の取組への御協力をよろしくお願いいたします。

(2) 上位3項目と下位3項目について

【上位3項目】

- | | | |
|-------|-------|----------------------|
| ①地域連携 | 3. 72 | 19「保護者・地域への誠実・丁寧な対応」 |
| ②地域連携 | 3. 69 | 20「保護者・地域との連携・交流」 |
| ③地域連携 | 3. 64 | 18「学校経営・教育活動の情報提供」 |

【下位3項目】

- | | | |
|---------|-------|--|
| ①地域との連携 | 3. 39 | 21「PTA活動は、教育活動充実や子育て支援のために役立っている。」 |
| ②学校経営 | 3. 43 | 3「教職員は、一人一人の子どもを理解し、子どもに合った教育（特別支援教育）を適切に行っている。」 |
| ②学校経営 | 3. 43 | 5「教職員は、感染症予防等に気を付けながら教育活動を実践している。」 |

令和6年度は下位3項目が「かしこく」に関する項目でしたが、今年度は「かしこく」に関する全ての項目が3. 5を超え、平均0. 33の向上が図られました。

また、教職員アンケートよりも保護者アンケートの結果が高評価だった項目が2項目ありました。

１３ 教職員は、子どもに家庭学習の習慣が身につくよう指導している。

１６ 学校は、学校の施設や環境は、清潔で清掃が行き届いている。

昨年度は、１３「子供は家庭で学習する習慣が身に付いてきている」については、低い結果となっていましたが、向上が見られました。

また、昨年度最下位となった１６「学校の施設や環境は、清潔で清掃が行き届いている」については、児童数の減少により、清掃が行き届かない面が出てきていることに対する思いが表れているように思います。清掃時間には、異学年の組み合わせで活動しているため、上級生と下級生の関わりを意識して指導しながら、教師自身も熱心に清掃に取り組む姿が見られます。

５ 保護者アンケートの回答について

学校評価については、令和５年度よりインターネットを利用したアンケートとしました。保護者の回答数は、昨年度５８／６２名（児童数）でしたが、今年度は全ての御家庭から回答を頂戴しました。

（１）肯定的な回答の割合について

各設問についての肯定的な回答、「思う」、「やや思う」の合計の割合は、２１項目中１９項目で９０％を超えました。（前期比＋２項目）設整体的に高い評価をいただくことができました。今後とも保護者の皆様と力を合わせてよりよい教育を目指していきたいと思えます。